

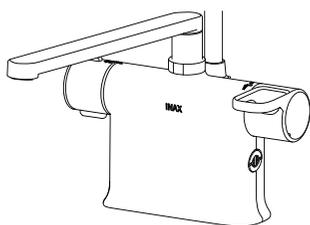
## サーモスタット付シャワーバス水栓

BF-WM646T型

左記の品番は代表品番です。品番の特定は商品の品番ラベルをご確認ください。品番ラベルの位置は「アフターサービスについて」をご覧ください。

### 取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。  
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。



この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。  
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。  
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

#### 工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。  
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

■ 各部の名称	1
■ 安全上のご注意	2
■ ご使用前に	5
■ ご使用方法	10
■ 凍結の恐れがある場合	13
■ 日常のお手入れ	15
■ 定期的なお手入れ	18
■ 定期的な部品交換のお願い	19
■ 修理を依頼される前に	21
■ アフターサービスについて	26

保証書 ..... 裏表紙

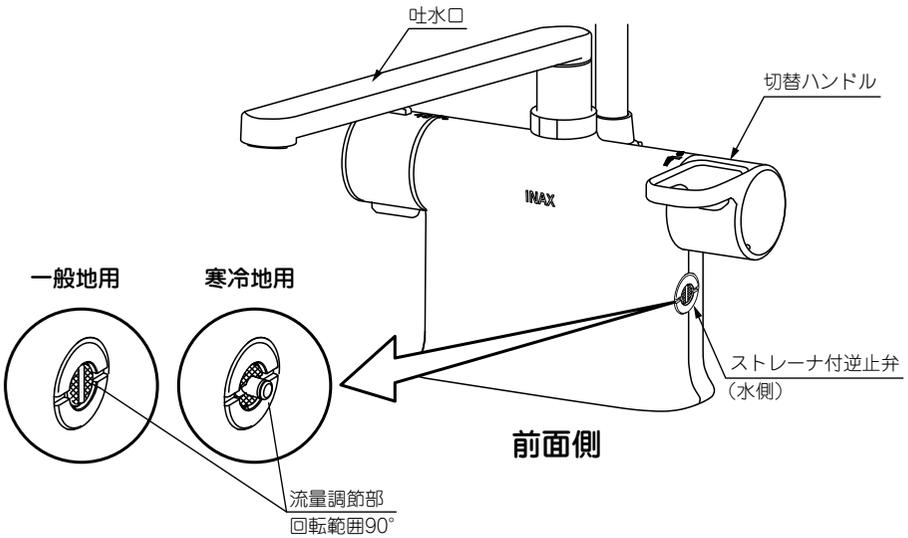
はじめに

つかいかた

お手入れ

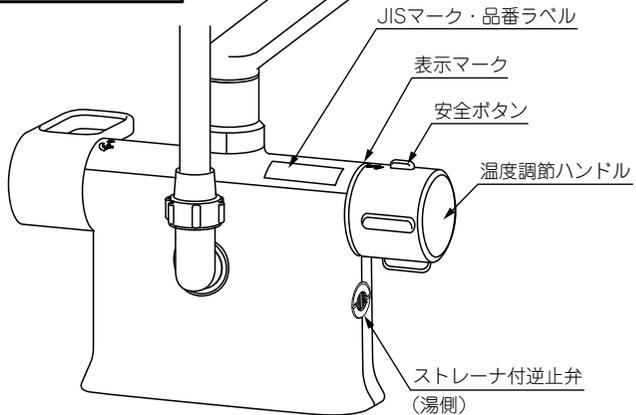
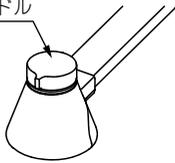
こんなときは

# 各部の名称



## BF-WM646TYの場合

吐水モード切替ハンドル



背面側

# 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 用語および記号の説明

**警告** …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

**注意** …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



…… 「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



(禁止)

…… 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)



(分解禁止)

…… 「分解してはいけません!」



(禁止)

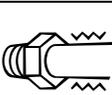
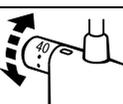
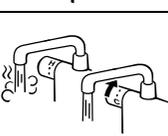
…… 「指示した場所には触れてはいけません!」



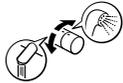
(指示)

…… 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

# ⚠ 警告：ヤケドをしないために

 (禁止)	<p><b>小さいお子さまだけのご使用は避けてください。</b>                  ※ ヤケドやケガをする恐れがあります。</p>	
 (禁止)	<p><b>給湯器の給湯温度設定は60℃より高温で使用しないでください。</b>                  ※ 水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。                  サーマスタット付水栓の場合、十分な機能を発揮させるため給湯器の給湯温度は50℃以上をおすすめします。</p>	
 (禁止)	<p><b>シャワーには熱湯(60℃より高温)を通さないでください。</b>                  ※ シャワーヘッドが破損して、ヤケドやケガをする恐れがあります。                  安全のため、シャワーは45℃以下のご使用をおすすめします。</p>	
 (禁止)	<p><b>散水板(ミスト吐水部)には熱湯(60℃より高温)を通さないでください。</b>                  ※ 散水板が破損してヤケドやケガをする恐れがあります。</p>	
 (禁止)	<p><b>水栓の給湯側(左側)は高温になっています。</b>  <b>水栓の表面に直接、触れないようにしてください。</b>                  ※ ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 (禁止)	<p><b>高温の湯をお使いのときは、吐水口が高温になっています。</b>  <b>直接、触れないようにしてください。</b>                  ※ ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 (指示)	<p><b>給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。</b>                  ※ 正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。</p>	<p>給水圧力 ≥ 給湯圧力</p> 
 (指示)	<p><b>ご使用時は水側から吐水してください。通水後、ゆっくり高温側へ調節し、必ず素手で適温であることを確かめてください。</b>                  ※ 高温の湯が出てヤケドする恐れがあります。またシャワーと吐水口を切り替えたときも、湯の温度が高くなる場合がありますので、ご注意ください。</p>	
 (指示)	<p><b>吐水モードを切り替えた時は、必ず素手で適温であることを確かめてから使用してください。</b>                  ※ 高温の湯が出てヤケドする恐れがあります。またミストとカランを切り替えた時も湯の温度が高くなる場合がありますので、ご注意ください。</p>	
 (指示)	<p><b>定期的に配管の漏水やガタツキがないか確認してください。</b>                  ※ 部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 (指示)	<p><b>温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、ゆっくり回してください。</b>                  ※ ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 (指示)	<p><b>高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないよう、温度調節ハンドルの目盛を「40」以下に戻し、しばらく水を流してください。</b>                  ※ 次に使用する際に、水栓内に残っている高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。</p>	

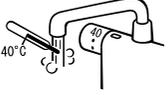
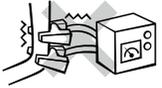
## ⚠ 警告：ヤケドをしないために

 (指示)	<p>温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐出してください。          ※ 高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。</p>	
 (指示)	<p>お使いになる前に、お湯の出る側がシャワー側か吐水口側かを切替ハンドルで確認してからお湯をお使いください。          ※ 間違えるとヤケドをする恐れがあります。</p>	
 (指示)	<p>ご使用前に、切替ハンドルでシャワー・吐水口どちら側から吐水されるか確認してください。          ※ 間違えるとヤケドをする恐れがあります。</p>	
 (指示)	<p>ご使用前に、吐水モード切替ハンドルで、カラン・ミストどちらのモードで吐水されるか確認してください。          ※ 間違えるとヤケドの恐れがあります。</p>	
 (指示)	<p>ストレーナの掃除をする際は、いきなりストレーナ付逆止弁を緩めずに配管の元バルブを閉じてから行ってください。          ※ 閉じずに作業を行うと、湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 (指示)	<p>ミスト吐水は、通常の整流吐水よりも広がって吐水されます。          拡散するミストに注意してご使用ください。          ※ 不意に高温のミストがかかった場合に、ヤケドする恐れがあります。</p>	

## ⚠ 注意：正しくお使いいただくために

 (禁止)	<p>シャワーヘッドを落としたり、ぶつけたりしないでください。          ※ キズがつき、ケガをする恐れがあります。          「メッキタイプの場合」          シャワーヘッドにキズが生じた場合は、LIXIL 修理受付センターに修理、交換を依頼してください。<b>有料作業</b>にて承ります。(P.26参照)。          ※ 機能部品が衝撃で破損し、漏水や故障の原因になります。          ※ タイルに割れ、欠け、キズが生じ、ケガをする恐れがあります。</p>	
 (分解禁止)	<p>修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。          ※ 故障・破損の恐れがあります。</p>	
 (指示)	<p>切替ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、お止めください。          ※ 漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 (禁止)	<p>吐水口にもたれかかったり、無理に引っばったりしないでください。          ※ 水栓が破損してケガをする恐れがあります。</p>	

## ⚠ 注意：凍結防止のために

 (指示)	<p><b>【一般地仕様の場合】</b>凍結が予想される際は、凍結予防の措置を行ってください。(P.13参照)  <b>【寒冷地仕様の場合】</b>配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行ってください。(P.14参照)          ※ 凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 (指示)	<p>凍結した場合は温度調節ハンドルの目盛“40”と吐水温度があっているか確認してください。          ※ 凍結すると本体内の部品が破損し、設定温度がずれてヤケトをする恐れがあります。</p>	
 (禁止)	<p><b>【寒冷地仕様の場合】</b>凍結時に解氷機をご使用の際、水栓本体部には絶対に通電しないでください。          ※ 発熱により水栓内部の樹脂部品が破損し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	

## ご使用前に

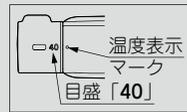
### 給湯器と組み合わせてご使用の場合

サーモスタート混合栓は、湯と水を混合して吐水温度を調整しています。

このため、**給湯器の設定温度より、**

**吐水温度は低く**なります。

(例)

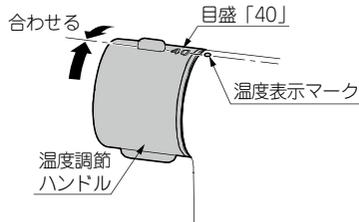


- 給湯器の設定温度は、希望の吐水温度より高めに設定してください。  
 ※ 給湯温度は **50°C以上60°C以下** の設定をおすすめします。  
 ただし、ヤケト防止のため、60°Cを超えない設定にしてください。
- 給湯温度を変更すると、温調ハンドルの表示どおりの湯が出なくなる場合があります。  
 ※ 温度調節ハンドルの再調整をしてください。
- 流量を絞って使用すると給湯器が作動しない場合があります。  
 ※ 給湯器の取扱説明書にて最低作動流量をご確認の上、ご使用ください。

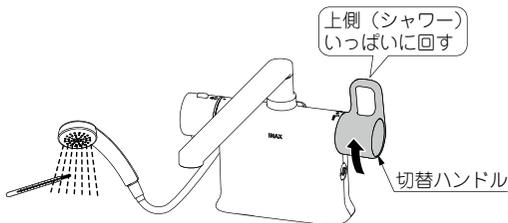
## 吐水温度の確認

温度調節ハンドルは出荷時に設定していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの温度が出ないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか次の手順で確認してください。

1. 温度調節ハンドルの目盛「40」を温度表示マークに合わせます。



2. 切替ハンドルを上側（シャワー）に回して全開にし、吐水温度を確認します。



吐水温度が	適温（約40℃）である	そのままご使用いただけます。
	適温（約40℃）に合っていない	P.7の「温度調節ハンドルの位置調整」を参照し再調整をしてください。 LIXIL 修理受付センターにおいてもハンドル調整を承りますが、保証期間内でも <b>有料作業</b> となります。

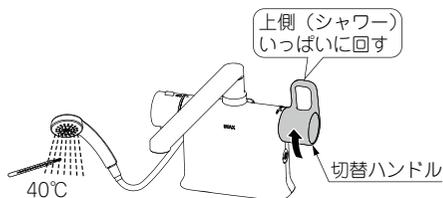
## 温度調節ハンドルの位置調整

吐水温度と温度調節ハンドルの表示が合っていない場合は、次の手順でハンドルの位置調整をしてください。LIXIL修理受付センターにおいてもハンドル調整を承りますが、保証期間内でも**有料作業**となります。

※ハンドルの位置調整手順は、動画でもご確認頂けます。



1. 切替ハンドルを上側(シャワー)に回して全開にし、目盛「40」に関係なく吐水温度が約40℃になるように温度調節ハンドルを回します。

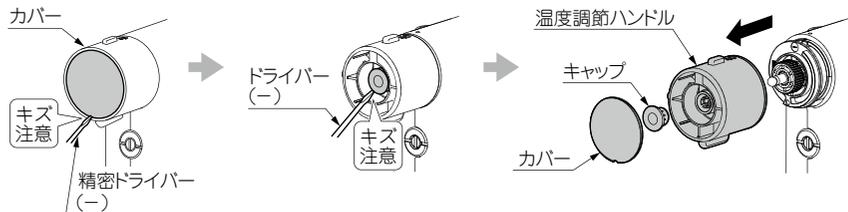


### ポイント

#### 【高温の湯を出す場合】

温度調節ハンドルには、安全ボタンがついており、目盛「40」を少し過ぎたところで一度ロックされます。さらに高温側に回したいときは、安全ボタンを押しながら回します。

2. 吐水温度が適温(約40℃)になったところで止水し、温度調節ハンドルが回らないように注意して、カバー、キャップ、温度調節ハンドルの順に取り外します。



注意

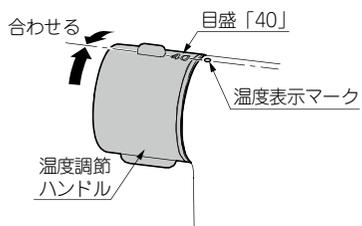
カバー・キャップを取り外す時は、慎重に行ってください。

※無理に取り外そうとすると、キズ、破損の原因になります。

### ポイント

キャップを外すと温度調節ハンドルは手で引っ張るだけで外れます。

3. 取り外した温度調節ハンドルの目盛「40」が温度表示マークに合うように温度調節ハンドルをはめて、キャップ、カバーを取り付けます。



**注意** 取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛「40」で吐水温度が約40℃になっているかを確認してください。  
※ 高温の湯が出て、ヤケドの恐れがあります。

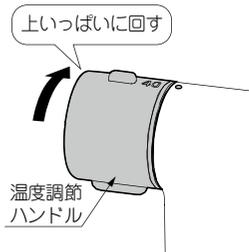
**ポイント**

キャップを奥までしっかり挿入します。

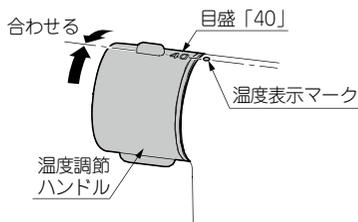
## 流量の調節

流量が多い場合は、湯側・水側の流量調節栓をそれぞれ次の手順で調整してください。

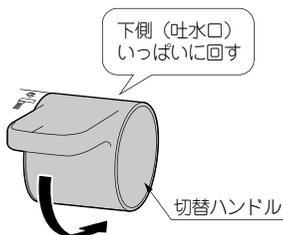
1. 温度調節ハンドルを合わせます。  
上(水側)いっぱいに回します。



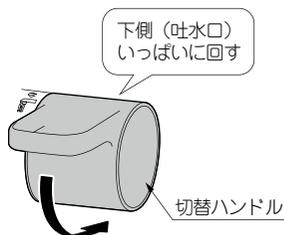
4. 温度調節ハンドルの目盛「40」と温度表示マークを合わせます。



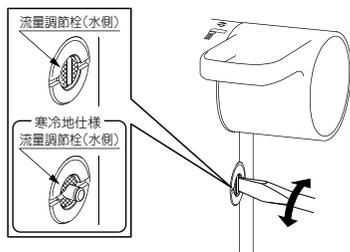
2. 切替ハンドルを下側(吐水口)へ回し、全開で吐水します。



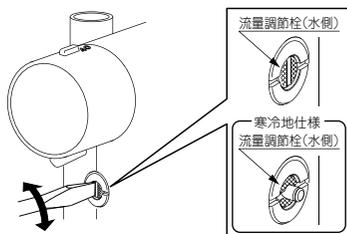
5. 切替ハンドルを下側(吐水口)へ回し、全開で吐水します。



3. マイナスドライバーで水側(右)の流量調節栓を調節します。



6. マイナスドライバーで湯側(左)の流量調節栓を調節します。



### ポイント

#### 最適な流量とは…

洗面器(容量3L)をいっぱいにするのに、約10秒弱が目安です。

(=20L/分程度)

※ シャワー流量も快適になっているか、あわせてご確認ください。

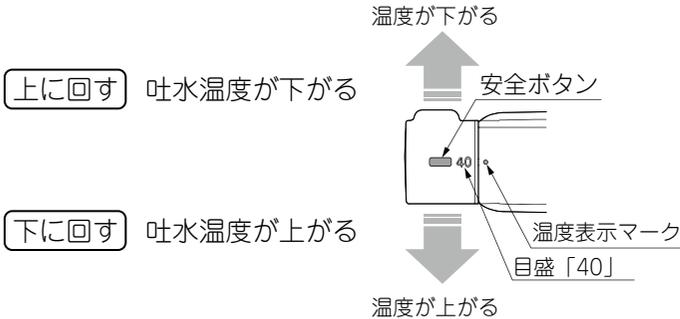


水側(右)と湯側(左)の流量の差が大きい場合、吐水口とシャワーの吐水温度に差が生じる場合があります。ただし、流量の差を小さくしても、全く差がなくなるものではありません。

# ご使用方法

## 温度調節ハンドルの使い方

温度調節ハンドルを回すと、吐水温度が調整できます。



温度調節ハンドルには、安全ボタンがついており、目盛「40」を少し過ぎたところで一度ロックされます。さらに高温側に回したいときは、安全ボタンを押しながら回します。



注意

- 高温のお湯を使用した後は、必ず温度調節ハンドルを目盛「40」以下に戻してください。  
※ヤケドをする恐れがあります。
- 吐水温度はシャワー側と吐水口側で温度差がある場合があります。

### ポイント

#### 【いつも快適にご使用していただくために】

給水温度は季節によって一定ではありません。  
給水温度が変化することで温度のバランスが崩れやすくなるため、ハンドルの温度表示と吐水温度が合わなくなることがあります。

一年を通して快適にご使用いただくために、給湯器の設定温度を「夏は低め」「冬は高め」に設定することをおすすめします。

## 切替ハンドルの使い方

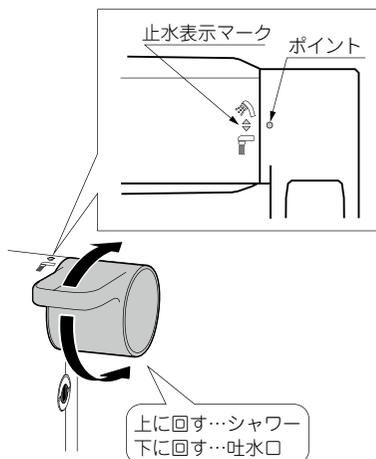
### 水(湯)をとめる

切替ハンドルのポイント(●)を本体側の止水表示マーク(◆)の中央に合わせます。

### 水(湯)を出す

シャワー : 切替ハンドルを上に戻します。上いっぱいまで回すと流量が最大になります。

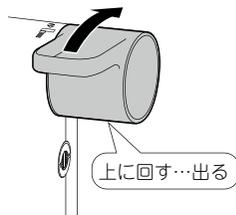
吐水口 : 切替ハンドルを下に戻します。下いっぱいまで回すと流量が最大になります。



[吐水口のみ、シャワーのみ仕様の場合]

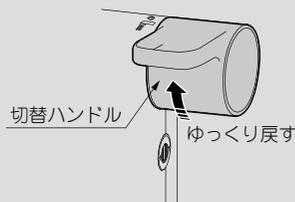
### 水(湯)を出す

切替ハンドルを上に戻します。上いっぱいまで回すと流量が最大になります。



注意

- 切替ハンドルはゆっくり操作してください。流量を多く使用しているとき、急に止水すると「ドン」と大きな音が発生します。  
※ 配管の損傷や水漏れの原因となります。



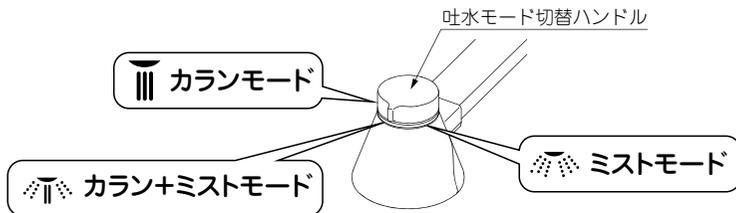
- ご使用の前に、切替ハンドルでシャワー・吐水口どちら側から吐水されるか確認してください。  
※ 不意に水をかぶったり、ヤケドの恐れがあります。
- スイッチシャワーの場合は、シャワーヘッドの吐水スイッチが押されていることを確認した後、切替ハンドルを操作して下さい。  
※ 一時止水スイッチを押した状態で切替ハンドルを操作すると、ハンドルが重くなり故障の原因となります。

### ポイント

シャワーヘッドに同梱の「取扱説明書」がある場合は、あわせてご確認ください。

## 吐水モード切替ハンドルの使い方

吐水モード切替ハンドルを回すことで好みの吐水モードに切り替えることができます。



**カランモード** 整流を吐水します。

➡ お湯はりなど通常の整流吐水が必要な際にご使用ください。

**カラン+ミストモード** 整流とミストを同時に吐水します。

➡ お湯はりをしながら、浴室の寒さを緩和する際にご使用ください。  
お湯はり後は、すぐに入浴されることをおすすめします。

**ミストモード** ミストを吐水します。

➡ 2番風呂やシャワー浴前など、お湯はりが不要な時に浴室の寒さを緩和する際にご使用ください。



**注意**

- 使用前は、必ず素手で吐水温度を確認してください。  
※ ヤケドをする恐れがあります。
- 安全のため温度調節ハンドルの安全ボタンを超えた位置の温度で、ミストを吐水しないでください。  
※ ヤケドをする恐れがあります。
- 入浴後は、換気扇をつける・窓を開けるなどして換気をしてください。  
※ 浴室内に水滴がついたまま長時間放置するとカビ発生の原因となります。

### ポイント

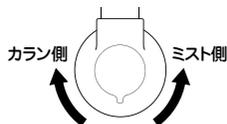
モード切替ハンドルの位置を調整することで、浴室の室温上昇を調整することができます。  
(同じ量を湯はりする場合)

・ミスト側へ回すと…

室温上昇：上がる 湯はり温度：下がる 湯はり時間：長くなる

・カラン側へ回すと…

室温上昇：下がる 湯はり温度：上がる 湯はり時間：短くなる



**注意**

- 高温のミストモードによるミストサウナのような使い方では使用しないでください。
- ミストモードで適温に調節してご使用後に、カランモード、カラン+ミストモードに戻す場合は、整流部分の吐水温度が高くなりますので、必ず素手で適温であることを確かめてからご使用ください。

## 凍結の恐れがある場合

一般地仕様の水栓をお使いのお客様も必ずお読みください。

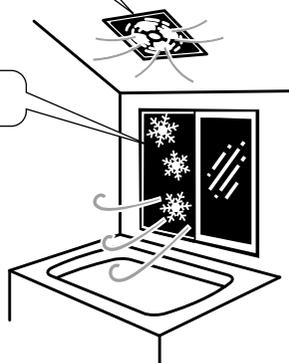
暖かい地域でも水栓や配管が凍結すると、部品が破損し水漏れが発生する恐れがあります。凍結による破損は、保証期間内でも**有料作業**となります。

凍結が予想される場合は、浴室内が氷点下にならないように下記の凍結予防を行ってください。

(凍結予防の例)

換気扇を点けたままにしない

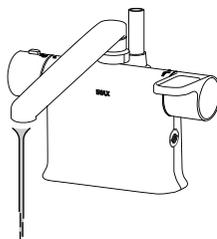
窓を開けたままにしない



## 一般地仕様の場合

氷点下になる恐れがある場合は下記の対策で凍結を防止できる場合があります。

- 水栓から少量の水を流したままにする
- 配管部などに保温材を巻く



## 寒冷地仕様の場合

水栓内の水を抜き、凍結を予防する方法です。また、長期間使用しないときも、必ず下記の水抜き操作を行ってください。

スイッチ付シャワーヘッドの場合

**STEP 1** ⇨ **STEP 2**

その他のシャワーヘッドの場合

**STEP 2**

### STEP 1

1. スイッチ付シャワーヘッドの吐水スイッチを押して、切替ハンドルを上側(シャワー)に回し、シャワーヘッドから水を出す。
2. 切替ハンドルを吐水位置に戻す。

### STEP 2 水栓内の水抜き操作の前に、「配管の水抜き操作」を行ってください。

下記のイラスト手順 ①⇨②⇨③⇨④⇨⑤ に従って水栓内の水抜き操作を行ってください。



- 「配管の水抜き操作」が不十分だと、水栓内に水が残り凍結の恐れがあります。
  - 湯側(左)の取付脚が熱くなっている場合がありますので、注意してください。
- ※ ヤケドの恐れがあります。



つかいかた

### 通水再開のしかた

上記のイラスト手順 ①⇨②⇨③ に従って通水再開をしてください。

#### ポイント

水抜きを行っても、水栓内に残った水滴が凍りつき水が出ないことがあります。その場合は、水栓にタオルなどを巻き付け、ぬるま湯をかけてください。

# 日常のお手入れ

## 布などを使用したお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは、水ぶきし、最後にからぶきしてください。



### 注意

製品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- クレンザー、ポリバスクリーナー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- 研磨粒子入りスポンジ、ナイロンたわし、ブラシ等
- シンナー、ベンジン等の溶剤

※ ヒビ割れや変色の原因となります。

まちがって使用した場合は、すぐに水洗いをしてください。



- メラミンフォーム(スポンジ)をご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。  
また、水栓の印字部分は、表示が消える恐れがあるので、使用しないでください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤で洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。
- 着色されたうがい薬などが製品に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。  
※ 薬品等が付着したまま放置すると製品表面の変色の原因となります。

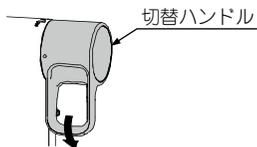
## ストレーナの掃除

流量が少なくなった場合はストレーナのゴミ詰まりが考えられます。  
ときどき次の要領で掃除してください。

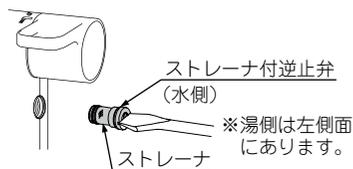
1. 配管の元バルブを閉じる。



2. 切替ハンドルを吐水口側(下)全開にして水栓内部の圧力を抜く。

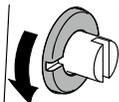


3. 大型のマイナスドライバー等でストレーナ付逆止弁を取り外し、ストレーナのゴミ等を洗い流す。



### ポイント

寒冷地仕様は灰色部位を回して外してください。



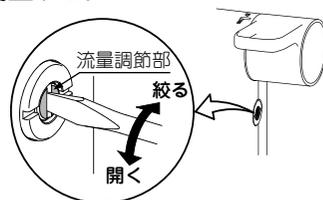
4. 元通りに取り付け、切替ハンドルを「止」位置に戻し配管の元バルブをあける。

### ポイント

ストレーナは湯側・水側の2か所あります。両方のストレーナを掃除してください。



5. 流量調節部で元通りに流量を調整する。



### ポイント

水洗いだけで汚れが落ちにくいときは、やわらかめのブラシ等を使って落とすようにしてください。

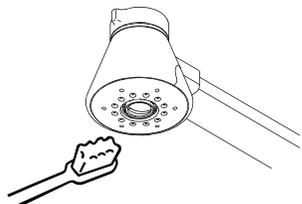
## シャワーのストレーナの掃除

シャワーヘッドに同梱の取扱説明書がある場合は、そちらをご覧になり、シャワーのストレーナの掃除をしてください。

## 散水板の清掃

散水板の汚れや目詰まりは水切れ性や温度上昇性能の低下を招く原因になります。いつまでも快適にお使いいただくために、ときどき以下の要領でお手入れをしてください。

ミストの穴を歯ブラシなどを使用して清掃します。



安全ピンなどを無理に奥まで挿入しないでください。

- ※ 中の部品が破損する恐れがあります。
- ※ 散水穴が変形する恐れがあります。

※水栓内の滞留水を排出するために、定期的にミスト吐水されることをおすすめします。

# 定期的なお手入れ

## 配管まわりの水漏れ点検（年2回以上）

- 水回りの水漏れがないか点検してください。
- ※ 劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め、お求めの取付店・販売店または、LIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



## 水栓本体のガタツキ確認（年2回以上）

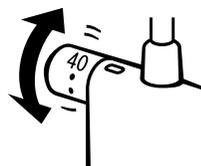
- 本体部のガタツキがないかを確認してください。
- ※ 配管に負担がかかり、水漏れの原因になります。

本体部にガタツキがある場合は、お求めの取付店・販売店または、LIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



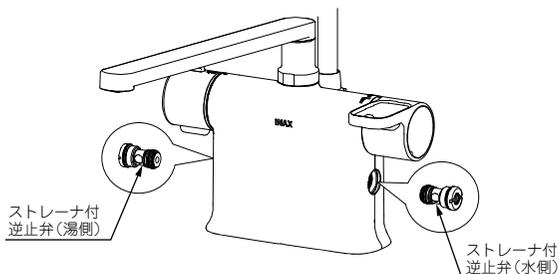
## 温度調節ハンドルの操作性確認（月1回）

- 温度調節ハンドルをときどき回してください。
- ※ 温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれる恐れがあります。



# 定期的な部品交換のお願い

## ストレーナ付逆止弁の交換



### 交換時期：3～5年

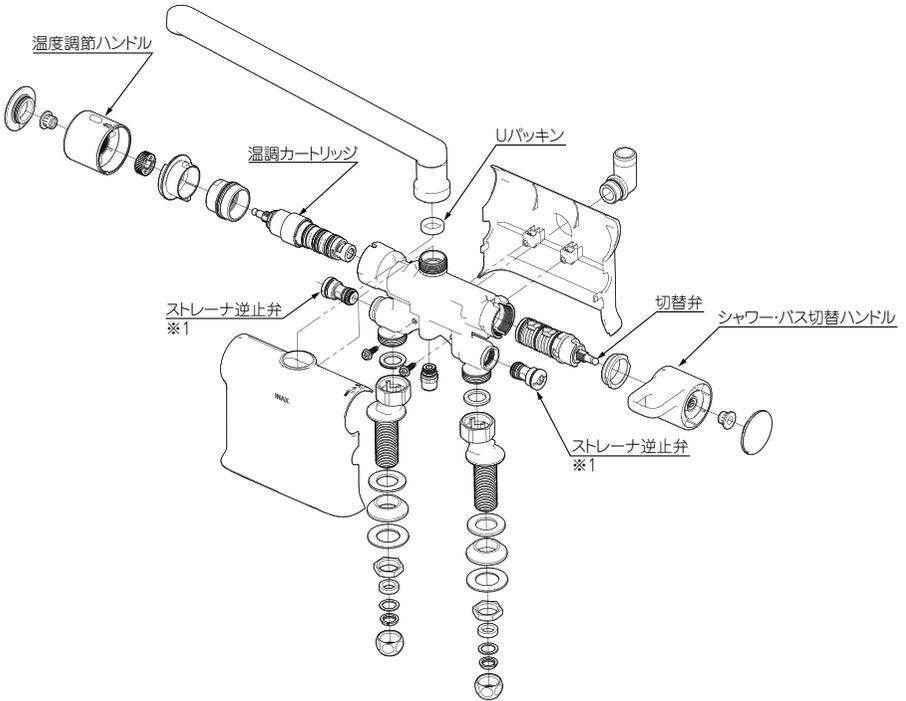
※逆止弁の交換は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。

 **0120-179-411**

LIXIL修理受付センターにご依頼の場合、修理料金は“技術料”＋“出張料”＋“部品代”で構成されています。

## 摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
- 摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）  
例）逆止弁、ハンドル、シャワーヘッド、シャワーフック、シャワーホース、バルブ部（切替弁など）、温調カートリッジ、パッキンなど
- 部品の交換については、お求めの取扱店または、LIXIL修理受付センターにご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。



※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

### 〈定期的な点検・部品交換のめやす〉

使用年

1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 11 / 12

お客さまによる日常のお手入れ・点検

消耗部品の交換

摩耗劣化部品の交換（逆止弁は3～5年）

買換え  
ご検討

# 修理を依頼される前に

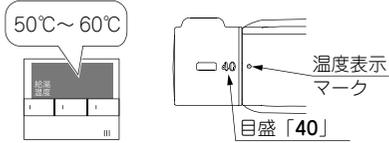
修理を依頼される前に、下記項目をご確認ください。

下表を確認しても直らない場合は、お求めの取付店・販売店、またはLIXIL修理受付センターへご依頼ください。(→26ページ)

- 温度が安定しない、温度調節がうまくできない(→21-22ページ)
- 高温の湯が出ない(→22ページ)
- 流量が少ない(→23ページ)
- 水が止まらない(→23ページ)
- 接続部から水漏れする(→24ページ)
- 水栓本体から音がする(→24ページ)
- シャワーヘッドから音がする(→24ページ)

※ シャワーヘッドや給湯器の説明書もあわせてご確認ください。

## 温度が安定しない、温度調節がうまくできない

<p>しばらく流しても改善しませんか？</p>	<p>給湯器と水栓金具の配管距離が遠い場合は、お湯が出てくるまで時間がかかります。温度が安定するまでお湯を出し続けてから使用してください。</p> 
<p>他の場所(トイレ、キッチン、洗面など)で同時に水栓を使用していませんか？</p>	<p>配管内の水圧が変化することで、温度が不安定になることがあります。他の場所の水栓と同時に使用しないようにしてください。</p>
<p>給湯器の温度は正しく設定されていますか？</p>	<p>サーモスタット混合栓は、湯水を混合して吐水温度を調整しています。給湯温度は<b>50℃以上60℃以下</b>に設定してください。(→5ページ)</p> 
<p>水側と湯側の流量調節栓を適切に絞っていますか？</p>	<p>給水圧力は必ず給湯圧力以上にご確認ください。 ※ 正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。ただし、水側と湯側で差が大きい場合、吐水口とシャワーの吐水温度に差が生じる場合があります。</p>

## 温度が安定しない、温度調節がうまくできない

<p>キッチンや洗面水栓の温度調節はうまくできていますか？</p>	<p>● <b>他の場所の水栓も不安定な場合</b> 給湯器に原因がある可能性があります。 給湯器メーカーにお問い合わせください。</p> <p>● <b>浴室の水栓のみ不安定な場合</b> 温度調節ハンドルの再調整をしてください。 (→7ページ) ※LIXIL 修理受付センターでもハンドル調整を承りますが、保証期間内でも<b>有料作業</b>となります。</p> <p>それでも直らない場合は、お求めの取付店・販売店、またはLIXIL 修理受付センターへご依頼ください。 (→26ページ)</p>
<p>温度調節ハンドルの表示と吐水温度は合っていますか？</p>	<p>給湯器の設定温度、季節による給水温度変化により、表示どおりにならない場合があります。 温度調節ハンドルの位置調整をしてください。(→7ページ)</p> <div data-bbox="768 501 1039 671" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※ハンドルの位置調整手順は、動画でもご確認頂けます。</p>  </div>
<p>流量を絞りすぎていませんか？</p>	<p>給湯器の運転に必要な流量よりも給湯器の流量が少なくなると、給湯器が着火せず、水栓金具から安定したお湯が出なくなります。 給湯器の取扱説明書にて最低作動流量をご確認の上、湯側・水側の流量調節栓を調節してください。(→9ページ)</p>
<p>ストレーナーにゴミが詰まっていますか？</p>	<p>ストレーナーにゴミ詰まりがないことを確認してください。 (→16ページ)</p>

## 高温の湯が出ない

<p>給湯器の温度は正しく設定されていますか？</p>	<p>サーモスタット混合栓は、湯水を混合して吐水温度を調整しています。 給湯温度は<b>50℃以上60℃以下</b>に設定してください。 (→5ページ)</p>
<p><b>【高温出湯規制タイプの場合】</b> ヤケド防止のため、温度調節ハンドルは、約45℃付近でストップし、それ以上回らないようになっています。故障ではありません。</p>	

## 流量が少ない

流量調節栓は十分に開いていますか？

湯側・水側の流量調節栓が十分に開いていることを確認してください。(→9ページ)

ストレーナやシャワー散水板にゴミが詰まっていますか？

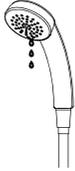
ストレーナ汚れや目詰まりを取り除いてください。(→16ページ、シャワーヘッド取扱説明書)

給湯器の温度は正しく設定されていますか？

サーモスタット混合栓は、湯水を混合して吐水温度を調整しています。  
給湯温度は**50℃以上60℃以下**に設定してください。(→5ページ)

## 水が止まらない

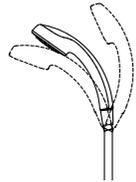
シャワーから水が漏れ続けているかを確認してください。



- しばらく経って水が止まる場合  
シャワーヘッド内の残留水が排出されるため、故障ではありません。

### ポイント

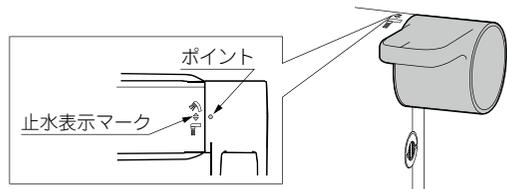
角度調整式のシャワーフックをご使用の場合、角度によっては、水を止めたときにシャワーから水垂れしやすい角度があります。その場合は、角度を調整してご使用ください。



- 水が漏れ続けている場合  
切替弁の故障が考えられます。取付店・販売店、またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。(→26ページ)

切替ハンドルが止水位置に合っていますか？

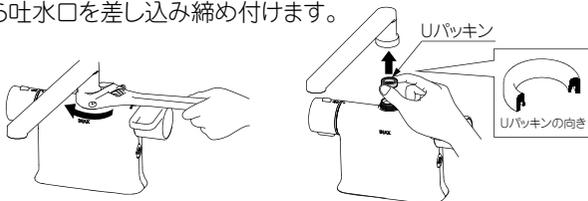
シャワー・バス切替ハンドルの止水表示マークとポイントと合っているかを確認、合っていないときは、止水位置に合わせてください。



## 接続部から水漏れする

吐水口接続部から  
水が漏れる

モンキーレンチ等を用いて固定ナットをしっかりと締め付けます。  
吐水口が外れた場合は、先にUパッキンを水栓本体に挿入して  
から吐水口を差し込み締め付けます。



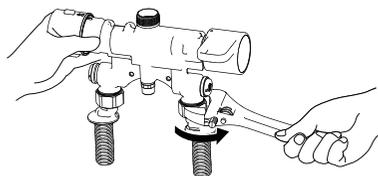
シャワーホース接続部から  
水が漏れる

シャワーヘッドとホース、ホースとシャワーエルボを手締めで  
しっかりと固定します。



取付脚と本体の袋ナット  
から水が漏れる

工具で袋ナットをしっかりと締め付けます。



## 水栓本体から音がする

切替ハンドルを急閉止して  
いませんか？

ウォーターハンマー現象が考えられます。流量が多いときに急に  
止水すると「ドン」と大きな音が発生します。  
流量調節栓で流量を少なくするか、ゆっくりとハンドルを  
閉めてください。

流量調節栓を適切に絞って  
いますか？

水圧が高いことにより発生する流水音が考えられます。  
流量を絞ることで流水音を低減することができます。  
(→9ページ)

## シャワーヘッドから音がする

シャワーから回転音がする。

水の勢いで内部部品が回転しているために発生する音であり、  
故障ではありません。

## 浴室の室温が上がらない

<p>給湯器の温度は正しく設定されていますか？</p>	<p>サーモスタット混合栓は、湯水を混合して吐水温度を調整しています。 給湯温度は<b>50°C以上60°C以下</b>に設定してください。 (→5ページ)</p>
<p>温度調節ハンドルの表示と吐水温度は合っていますか？</p>	<p>給湯器の設定温度、季節による給水温度変化により、表示どおりにならない場合があります。 温度調節ハンドルの位置調整をしてください。 (→7ページ)</p> <div data-bbox="748 296 1020 467" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※ハンドルの位置調整手順は、動画でもご確認頂けます。</p>  </div>
<p>浴室の窓、ドアが開いていたり、換気扇がついていませんか？</p>	<p>浴室の窓、ドアが開いていたり、換気扇がついていると十分な室温上昇効果が得られません。 窓、ドアを閉め、換気扇を停止してから湯はりミストを使用してください。</p>
<p>風呂フタを閉じたまま、お湯ほりをしていませんか？</p>	<p>風呂フタを閉じたままお湯ほりをする、十分な室温上昇効果が得られません。 風呂フタは閉じずに湯はりミストを使用してください。</p>
<p>吐水モード切替ハンドルの位置は適切ですか？</p>	<p>吐水モード切替ハンドルの位置により室温上昇効果が調整できます。吐水モード切替ハンドルの位置を調整してください。 (→12ページ)</p>
<p>流量調節部は十分に開いていますか？</p>	<p>流量が少ないと十分な室温上昇効果が得られません。 湯側・水側の流量調節栓が十分に開いていることを確認してください。 (→9ページ)</p>

## 湯はり時間が長い、湯はり温度がぬるい

<p>吐水モード切替ハンドルの位置は適切ですか？</p>	<p>吐水モード切替ハンドルの位置により湯はり時間、湯はり温度が調整できます。吐水モード切替ハンドルの位置を調整してください。 (→12ページ)</p>
------------------------------	--

# アフターサービスについて

## 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項(P.21)を参照して確認してください。

### ⚠ 注意

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造はしないでください。  
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



## 保証書と保証期間

この取扱説明書には、保証書がついています。取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたしますが、取扱店の記入がない場合は取扱店にご連絡ください。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は**取付けの日から2年間**です。

保証期間内でも有料にあることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

## 修理を依頼される時

《保証期間中は》

修理に関しては、保証書の規定に従って修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

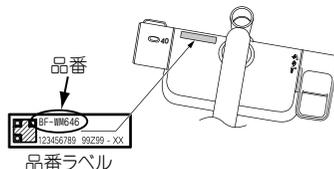
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

“技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

《ご連絡していただきたい内容》

- 1.ご住所、ご氏名、電話番号
- 2.商品名
- 3.品番(商品に表示、右図参照)
- 4.ご購入日
- 5.故障内容、異常の状況
- 6.訪問ご希望日



## 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)を製造打切り後最低10年間保有しています。**この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。**保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ご相談ください。

## アフターサービス等についておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》お求めの取扱店または

LIXIL修理受付センターまで (ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>)

TEL ☎0120-179-411

受付時間 9:00~20:00 **365日受付**

FAX ☎0120-179-456

《使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは》

お客さま相談センターまで

受付時間 平日 9:00~18:00

TEL ☎0120-179-400

土日・祝日 9:00~17:00

FAX ☎0120-179-430

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。

右記番号をご利用ください。TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

# 保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名:サーモスタット付シャワーバス水栓		(品番: )
保証期間	取付日より 2ヶ年	取付日 年 月 日
お客さま	おなまえ	取扱店名
	おところ	
	おでんわ ( ) -	TEL ( ) -
お客さまへ ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。 ・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。		

## 無料修理規定(保証規定)

- [取扱説明書]・[ラベル]などの注意事項に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
  - 用途以外(車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等)に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
  - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事起因する不具合
  - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
  - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
  - 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
  - 経年変化使用に伴う外観上の現象(塗装の色あせ、もらい錆等)または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
  - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する不具合
  - 小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫等)の行為または蔓(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
  - 天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等)に起因する不具合による故障及び損傷
  - 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
  - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
  - 消耗品(浄水カートリッジ、パッキン、ヒューズ、電池類)の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
  - 温泉泉、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
  - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
  - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
  - ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境(異常ガス圧、異常電圧・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等)に起因する故障及び損傷などの不具合
  - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
  - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10ヶ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。  
TEL 0562-40-4050  
FAX 0562-40-4053

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00~20:00 (365日受付)

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>

GMS-1990(19101)